



1年間のしめくくり

【校長 太田 謙二】

少しずつ日差しが暖かくなって、春めいてきた気がします。今月末には、桜が開花するという予報も発表されています。早いもので令和3年度もこの3月を残すだけとなりました。

今年度も、新型コロナウイルス感染症のため、様々な教育活動が制限される中でしたが、なんとか教育活動を行うことができました。本当に子供たちは、このような中、よくがんばって成長してくれたと思います。

今月3日には、在校生が卒業する6年生に、感謝とお祝いの気持ちを伝える「卒業生を送る会」を開催する予定です。

1年生から6年生まで一堂に会してという形ではありませんが、工夫しながら、各学年ごとに、それぞれ思いや願いを伝



えようと発表の準備を進めてくれています。私は、毎年この送る会の様子を見て、子供たちの成長を実感し、うるっときてしまいます。

さて、新型コロナウイルス感染症についてですが、オミクロン株の影響で、全国的に感染が続いており、和歌山県には、今のところ、まん延防止重点措置が6日まで適用されることになっています。感染のピークは過ぎた感じですが、まだまだ油断できない状況です。学校では、引き続き感染症対策を徹底して、教育活動を行っていきたいと考えます。お家の方でも、健康観察等、どうぞよろしくお願いいたします。

6年生は、卒業式を入れて、学校へ来る日があと14日。卒業までの残りの小学校生活を一日一日大切に、いい思い出をたくさん残して、中学校へ進学して欲しいと思います。また、在校生は、残りあと16日です。1年間のまとめとして、学習や生活を振り返り、進級への意欲を高めて、次の学年につなげて欲しいと思います。



この1年間、保護者の皆さま、地域の皆さまには、本校の教育活動に多大なるご支援、ご協力いただきましたことに、心より感謝申し上げます。この3月をいい形で締めくくり、そして、新しい年度にいい形でつながられるよう、教職員一同力を合わせてがんばって参ります。保護者の皆さま、地域の皆さま、どうぞ、今後ともよろしくお願いいたします。